



すべては必然

のはら元氣クリニック
野原 正史

何でもいいといわれると何をかけばよいのか判らず、かきたいことは山ほどあるはずなのにかけない。そこでもう書かないことにした、ただ、羅列することにした。自分の頭の整理ができない頭の悪い人間である。本人が言っているから、これほど確かなことはない。

病院名の由来について、

元氣クリニックの「氣」はこだわりの字、元氣になる、すなわち、元の氣に戻る、エネルギーに充ち溢れていた、生まれたての赤ちゃんのように健康な状態に戻すことが目標。元氣の「氣」の字の中は締め切りの「メ」ではなく「米」である。締めでは、氣を逆にとめてしまうが、「米」という字の形は四方八方から氣を集めてくれる状態を表す。また米を食べると、元氣がわくという意味もある。

我々が研修医になった昭和61年、がん患者に告知はタブーであった。最初の受持ちの乳がん末期の患者さんに、再発といえずに悲しい思いをしたり、再発胃癌の患者さんが、末期になり、「先生、癌なら癌とってください、やっておくことがあるから」と懇願されながら、何も言っていられなかったことなどがたくさんある。だからこそ、自分はがんの治療をしたかった。

心の持ち方で病氣は治るか

心と病氣の関係が興味を中心であり、心のあり方が病氣の進行や、回復に影響するのではとずっと思っていた。催眠療法で病氣まで治るか？これはもちろんYES！だと思ふ。メンタル

的な病氣は心の持ち方にて病氣が治るのは、ご承知のとおり。ただし、癌が治るかというところも少々疑問である。精神神経免疫療法は癌治療に実践されており、世界では保険が通っているところもある。その中で、サイモントン療法が比較的有名であり、私（筆者）もこれを沖縄にひろめるため活動中であり、現在、講師を招聘して年に2回のワークショップや講演会を企画している。

リンパ球療法と波動治療、波動医学は割愛

これだけ科学が進歩しているのに癌が増えてきているのは？なぜ？根本的に何かが、間違っているのではと感じる。では、何が？ストレスフルな環境、人間関係、農薬などの汚染により、農作物に力がなくなっている、ジャンクフードの氾濫？電磁波の影響？環境汚染の進行大気中の一酸化Nの増加？それとも宇宙人の陰謀？

医療と医院経営

医者って儲かる？割りにあわない？もちろん儲かりません、もちろん割りに合いません。ただし満足感というものは、自己満足かもしれないけど、得られます。恥ずかしい話、自分は医者を天職と考えているのでボランティアでもやりたいくらいだが、それでは、家族や職員を養っていけないし、せめて勤務医時代の収入があればな～なんて思う。開業しての悩みは、経営をどうやって軌道に乗せるか、職員とどううまくやっていくかが、先決であり、ややもすれば、患者さんをどうやって治すかということとは、二の次になってしまう。本来の目的のがん患者さんの治療は、遅々として進まないのが現状である。

誰か3億円ぐらいポンと寄付してくれ～、そうしたら、何も考えずに患者さんの治療だけに専念していけるのに!!って、虫のいい話だがいつもそう思う。本当に誰か3億ぐらいくれませんかね～。

偶然と必然

すべては必然、城間先生からリレー随筆の依頼が来たのも偶然ではなく必然？ ともかくこういう機会を与えてくれてありがとさんって感謝している。さて次はどんな偶然（必然）がまっているかな～。楽しみ、楽しみ。

最後に、好きな言葉を2つ

奇跡は現実を感謝して受け入れることから生まれる。ハンス・フォン・セリエ

世に生を得るは、ことを為すにあり 坂本竜馬

平成18年7月25日

★リレー状況

ー平成14年以前掲載省略ー

32. 川平稔先生（コザクリニック）Vol. 39 No. 1
33. 長嶺文雄先生（湘南病院）Vol. 39 No. 4
34. 松岡政紀先生（北部病院）Vol. 39 No. 7
35. 小橋川悟先生（読谷村診療所）Vol. 39 No. 10
36. 鳥谷裕先生（ライフケアクリニック読谷）
Vol. 39 No. 12
37. 玉井修先生（曙クリニック）Vol. 40 No. 3
38. 田川辰也先生（琉球大学大学院医学研究科
薬物作用制御学分野）Vol. 40 No. 4
39. 藤本奈央子先生（徳山クリニック）Vol. 40 No. 6
40. 戸澤雅彦先生（安立医院）Vol. 40 No. 9
41. 大湾勤子先生（独立行政法人 国立病院機構
沖縄病院）Vol. 40 No. 11
42. 宮城茂先生（独立行政法人 国立病院機構
沖縄病院）Vol. 41 No. 2
43. 祝嶺千明先生（しゅくみね内科）Vol. 41 No. 3
44. 宮城裕二先生（みさと耳鼻科）Vol. 41 No. 4
45. 親川富憲先生（おやかわクリニック）
Vol. 41 No. 6
46. 折田均先生（ハートライフ病院）Vol. 41 No. 7
47. 湧田森明先生（わくさん内科）Vol. 41 No.9
48. 宮良球一郎先生（宮良クリニック）Vol. 41 No.10
49. 蔵下要先生（浦添総合病院）Vol. 41 No.12
50. 樋口大介先生（独立行政法人 国立病院機構
沖縄病院）Vol. 42 No.3
51. 古謝淳先生（南山病院）Vol. 42 No.5
52. 城間清剛先生（城間クリニック）Vol. 42 No.7